



## おうちスカウティング継続中!!

### SCOUTING NEVER STOPS!

緊急事態宣言等を受けて3月から通常の活動を中止し、6月末までは自粛期間としてきました。

この度緊急事態宣言が解除され学校活動を始め様々な社会活動が再開されてきました。

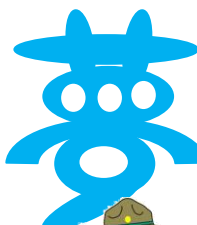
このような状況を受けて、6月7日(日)に団会議(もちろんリモート!)を開催し、対応を検討しました。

この結果引き続き「リスク」を感じながらも徐々に対面活動を再開していくこととし、そのための条件整備や保護者理解を進めていくこととなりました。

活動場所は当面祐遊広場に限定し時間差などで活動が密にならないように配慮、スカウトの参加も保護者判断を優先するなどを決定しました。

幸い祐天寺からは祐遊広場の使用について許可を得られることとなり、6月28日、7月12日に時間差集会を行う方向で計画しています。

また、夏の活動はこれまでの様にキャンプは出来ませんが、昨年末に行い好評だったガーデンパーティーの様なものの可能性を期待し、ローバー隊で企画検討を行うこととなりました。



目黒1団に関わる全てのスカウト、保護者及びリーダーの皆さんに“夢”という課題で作品を募集しました。

さてさて、今月はどんな人からどんな夢が・・・

今月はリーダーのみなさんが沢山書いてくれていますよ!!



## 団委員長メッセージ

高根博信



青葉薫る季節も過ぎ、関東も梅雨に入りました。

コロナはまだまだ終息とはいきませんが、祐天寺も施設利用が可能となりましたので団としてコロナを正しく恐れ、対策を徹底しながら集会を開催していくことに致しました。

なお、集会への参加時期、参加・不参加については、各家庭の判断に委ねる事にはいたします。

既にカブ、ボーイにつきましましては各隊長から連絡が入っていると思います。

引き続き父母会のご理解ご協力よろしくお願い致します。

さて、スカウト、保護者、リーダーから“夢”を題材に原稿を集めておりますが、そこで30年前の小学生が成りたかった職業をちょっと調べてみました。

みなさんは下のランキングを見てどう感じますか？

### ●男子

- 1位 プロ野球選手
- 2位 一般サラリーマン
- 3位 プロ野球選手以外のスポーツ選手
- 4位 警察官
- 5位 バイロット

### ●女子

- 1位 保育士、幼稚園の先生
- 2位 小・中・高の先生
- 3位 看護婦
- 4位 歌手
- 5位 ファッションデザイナー

今は、パティシエやサッカー選手、昔なかった職業として YouTuber、IT 関連の仕事などが目につきますがスカウトの皆さんの将来なりたい職業は何でしょうか？

今は昔と違いランキングなんてなくなって10人が10人、違った職業を目指す時代なのかもしれませんね・・・

**人と同じでないことは変な事ではない!**



## BS隊・KTスカウト



僕は可能性にあふれている宇宙の謎を解き明かしたいと思う。そして、地球と人類のために今よりさらに宇宙に関する研究を前進させたい。

以前、僕は5年生の時に父とJAXAの筑波宇宙センターに行った。その時に実際に仕事が行われている『きぼう』運用管制室でISSと通信している様子を見て、将来そこに勤めたいと思った。

この仕事に就くための僕のプランはこうだ。まず、中学校・高校で勉強とスポーツに励み、大学で機械科学や航空宇宙を学びたい。そして、自分の専門性をしっかり高めてJAXAやNASAに勤める。この目標を達成するために必要不可欠なものがある。それは、物理と数学と英語だ。だから、僕はこの3つを他の人よりも熱心に勉強しようと思う。学問的な知識と共に必要なのが人間性に違いない。リーダーシップと共にチームワークで大切な協調性も求められるであろう。だから、ボーイスカウトも続けていきたい。

宇宙はいろいろなところとつながっている。僕はそんな宇宙に関わるような仕事につくのが夢だ。



## CS隊・STスカウト



ぼくは、大きくなったら自然を守る人になりたいです。ぼくは自然が大好きで、山や森の中にいると心が落ち着きます。

人間は今まで自分たちのため森の木を伐採したり、動物や昆虫、鳥などの住み家をうばってきました。川や海をよごし、魚や水中生物をころしてしまい今大変な状況になっています。ぼくはそんなことをもうおこさないように自然を守る人になります。

最近、ファールブルや、シートンの伝記を読みました。二人はそれぞれ一生を自然にささげているので、すごいなと思いました。でも、ぼくはそのようにできるかわかりません。それで、ぼくは考えました。自然を守る方法やり方はたくさんあると思います。十人十色なんだと思います。科学者もいれば、建築家もいるだろうし、政治家も自然を守ることができると思います。他にも学校の先生などたくさんあります。

ぼくはこれから、ゆっくりと考えていこうと思っています。自分はどんなふうにして、どんなことをやっていこうか考えていこうと思っています。

これから、たくさん本を読み色々な人の話を聞いて、たくさん勉強もして、自分にできることを探していきたいです。

## 高根団委員長の夢



私は60歳、皆さんのおじいちゃんに近い年齢なのかもしれませんね・・・60年間を振り返って、残りの人生を????“夢”をそんな残りの人生を考えるに絶好のチャンスコロナは与えてくれたとも言えます。

コロナで自宅待機、テレワーク、ズームでのミーティング、飲み会もなし！自分の将来の仕事と生活を翼を広げて想像してみました。

まずは事務所なし、スタッフは全て違う国に住んでいて、人種も言語も異なり、24時間仕事ができる配置、当然事務所はないので通勤もなし、そんな想像の中の私の1週間は（一日）は？こんな感じです。

住まいはパラオのロングビーチの海沿いの高台、海に突き出たベランダが素敵な平屋の一軒家、家族と犬1匹、猫1匹、インコと一緒に暮らす。もちろん自給自足系、早朝、海岸を犬と散歩しながら海岸のごみ拾い！波がいい日はロングボードでサーフィン！帰り道に畑に立ち寄りひと仕事、朝食の野菜を収穫し、鶏小屋から卵をいくつか、朝食は海に面したベランダで！ふう～海風が気持ちいい！今日も天気良さそうだ！

8時から11時まで仕事、ランチの後は昼寝、午後1時から4時頃まで仕事、日が沈む前に近所の友達とテニスや夕食のおかず（魚）を釣りに海岸へ・・・日暮れと共に一汁一菜の食事とり、おやすみなさい！

土日はボーイスカウトのお手伝い、山に行ったり、海遊び、カヌー、釣り、素潜りなど、積極的に近所の奉仕活動にも参加、また自然災害など地域が抱えている問題を必要に応じての啓蒙活動に参加する、などなど。

あはは・・・こんな暮らしは”夢”???

これを現実にするにはとても多くの事をクリアにしなくてははいませんがコロナによって仕事のやり方、会社の在り方は、今まではNGだった事がVGとなっています。やる気があれば現実となりえる時代が変わっているのかもしれない。

皆さんいつかパラオ・ロングビーチの私の家に遊びに来て下さいね！

*Welcome my house and enjoy your life* 大歓迎です。

## BS隊・山中副長



私の将来の夢は、中学生のころから変わらず「人の役に立つ仕事につく」というとても漠然とした夢です。大学生になった今もその夢を掲げながら、福祉について勉強をしています。いろいろな人と交流をして経験を重ねながら、様々な人の役に立つ仕事を考え、何になりたいか探している最中です。

大学生生活も半分以上が過ぎてしまったので、夢をかなえられるようにより一層努力をしていきたいと思っています！



## BS隊・原山副長



### Around50の振り返り

ちょうど6年前、職場近くにあるインターナショナルスクールの生徒が、職場体験に来ました。3名ともほぼ日本語は無理、簡単な日本語しかできず、工作中、休憩中とはず質問され、回答に大変苦労したのを覚えております。その3名は職業体験後夏休みだそうで、世界各地を旅して友達を作るとか、試合で海外に行くので楽しみとか話をしました。

夢というか就職はどう考えているのか聞いた所、3名とも20代前半まではやりたい事やって、それから資格を取って世界各地で働き、最低5か国・5社は転職してキャリアアップと世界中の人と人脈形成をして・・・働く場所は言ってくれましたが、その先は言ってくれませんでした、中学生がこんな話をしてくれました。

未恐ろしいのと同年代日本人がどれだけ同じ事考えているかと思った事を思い出しました。

さて、当時私は鉄分が濃く（今でも多少ありますが）、技術系の学校に在籍していたので、某鉄道会社で働きたく技術系の高専・高卒卒（今は無い）があり採用試験受けましたが落ち、系列の不動産管理会社へ入社して十数年後グループ内職種希望でもう一度改めてチャレンジしましたが落選。現在に至ります。

学生の頃立てた目標に向かってた真っ直ぐな線路は、いつのまにか枝分かれ色々な方向に曲がり、色々な駅（経験）に停車・発車を繰り返す、必要としている駅を通過し、必要としない駅に停車、居心地良すぎて長々停車したまま発車していないのかもしれないし、ゆっくり進み出したかもしれません。でも人生は続いており、寄り道もいいじゃない。

「良い人生だった」と言える事も、夢の一つなのかも。

人生1度きり！ 先の10年後（還暦手前）までは夢でなくとも楽しい事考えて新たなチャレンジをしてみようかな。



## BS隊・小林副長



### 10年後・41歳の私へ

41歳の貴方は元気でしょうか？

31歳の私は、新型コロナウイルスで大騒ぎのところ、急に現場へ異動となり、入社以来の現場業務に戸惑いつつ、初心を思い出しながら仕事をしています。

入社以来の現場仕事をしていると、入社当時の気持ちをたまに思い出します。あの時は子供のころからあこがれていた鉄道会社に就職できて、とてもうれしかったなあ…と。

しかし、今回手紙を書くにあたり改めて自らの夢について考えると、紆余曲折あったことを思い出しました。小さい頃の私は、（何故か）とても電車が大好きで、毎日電車を眺めていた気がします。そのため、覚えている限りで最初に抱いた夢は、電車の運転士でした。

その夢をかなえるために、高校は専門的な学校に行きたいと思い、中学時代は努力をしてきました。しかし、ここで電車の運転士のための選択肢となる専門的な学校への入学を嫌った両親に反対され、また難関校と言われる学校に挑戦したいという自らの気持ちもあり、いったん夢を諦めてしまいました。

残念ながら難関校には入れず、そこそこの普通高校に入った私ですが、鉄道会社には就職したいという気持ちはありました。しかし、具体的に何をしたいかと言われると、何もないという状況でした。そのため、よくわからないけど鉄道会社の就職者がとにかく多い大学の学部に進学することにしました。

何とか希望する学部に入学できた私ですが、入学当時は就職難であり、また人に教える仕事に就きたいと思い、教師になろうと考え始めます。しかし、4年生前半で行った教育実習の際、教師には向いていないなと思い、教師を断念します。

結局何になりたいのか？真面目に考えたのは就職活動した時です。いろんな仕事の説明を受け、試験を受けました。そして、やはり鉄道会社に就職したいと思い、一生懸命努力し、そして今の会社から内定を貰いました。

（佐藤（仁）隊長より、大学時代に「仕事なんて大変なものなのだから、好きなものを仕事にしたほうがいい」というアドバイスをいただき、それも参考としました。）

考えた末についた仕事だと思つと、仕事で嫌なことがあっても我慢できます。これは、自分で必死に考え抜いた結果の選択だからだと思つます。これからもっと嫌なこと、面倒なことがあると思つますが、この手紙を読んで、少しでも気持ちが晴れるとうれしいです。

そしてこれを読んだ悩み多いスカウトたちが、今悩むことが無駄ではないことを感じてもらえれば幸いです。

飲みすぎ食べすぎには十分注意し、これからもお仕事、程々に頑張ってください。 ご安全に！

BS隊・佐藤隊長



中学生で「登る山」を決めてからは迷いもせずに、高校では理系を選択し、大学は建築学科に「受かるまで」受験しました。

そして、その方向に輪をかけて影響したのがボーイスカウトの一週間のキャンプ生活。班サイト作りは何も無い状態から開拓しテントやフライの位置を決める。フライはリビングだしテントは寝室、これはまさに家のプランニングに似ている。美化工作では生活に必要な家具を作る。いち時期は美化工作職人になろうかと思った事もありました。

今はおかげさまで夢を実現し充実した時間を過ごしていますが将来について(やっここから本題?! )はどんな社会になっているのか楽しみです。

今あるものは急速に衰退、発展して今ないものが登場しもしかしたら車は空を飛んでいるかもしれないし、携帯電話やパソコンも無くなっているかもしれない。電気などのエネルギーは、想像出来ない何かで社会が動いているかもしれない。交通網もより安全で速く移動ができ便利な世の中になっているだろう。

しかし、そのように社会が変化していても私は今と変わらず焚き火をしたい。できれば、もう少し趣味の時間を増やし海や山や空をボーっとして見ていたい。社会や時代が変わっても、今とあまり変わらない生活を続け今より健康になっているのが将来の夢です。



# 70TH ANNIVERSARY 1950 - 2020

各隊活動報告 & 活動予定

	20年5月の予定	20年6月の予定
BV	<b>活動中止</b>	おうち スカウティング 実施中
CS		28日(日) 時間差隊集会 AM:CS隊 PM:BS隊
BS		
RS		
	おうち スカウティング 実施中	